

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学 校 経 営 中 期 取 組 目 標
○ 教育目標の具現化に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着をもてる学校づくりを目指します。 ・子どもどうしが互いにつながり合う授業づくりを通して協働的に問題を解決する力の育成を図ります。 ・子どもが安心して自分らしく生活できる学級づくり・学校づくりを通して自他ともに人を大切にしている心情と行動力を育てます。 ・多面的多角的な見方や考え方のできる子どもを育て、多文化共生の学校生活を目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取 組 目 標	具 体 的 取 組
豊かな心		子どもが安心して自分らしく生活できる学級づくり・学校づくりを通して自他ともに人を大切にする心情と行動力を育てることに努めます。	①異学年交流を日常的に行い、思いやりや違いを認め合う関係作りをさらに深化させる。 指針1 異学年との体験学習の充実 ②自尊感情と規範意識を高める継続的な指導・支援を通し、互いを大切にする態度を育てる。 指針2 「道徳の時間」の充実 ③人権課題を自分事として考える学習を充実させ、よりよい人間関係を主体的に築く力を養う。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成
	担当 人権委員会 道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、具体的な手立てがあれば学習や生活に前向きに取り組もうとする。また、教師や友達と関わることが好きで、素直に自分の気持ちを表現しようとする子どもが多い。各学年には外国につながる子、一般級在籍で発達障害をもっている子、学習や人との関わりが苦手な子、家庭支援が必要な子など様々な背景や困り感をもった子ども達がいるため、それぞれの見方や考え方の違いを受け入れようとする気持ちをもっている。しかし、一部の自己本位になり、相手を傷つける言動をしてしまう子どもに同調してしまい、それを改め気持ちのよい人間関係を構築する言動ができる子どもが少ない。自信のなさが要因していると思われる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 異学年との体験学習の充実

- ・運動会でたてわり班の応援席にすることで、異学年での関わりからつながりを深め、「慈しむ心」や「敬う心」を育てる。
- ・たてわりわくわく活動など取り組みを通して、6年生をリーダーとして行動しようとする意識や下級生も協力しようとする気持ちを育み、互いに思いやりの心をもてるようにする。

指針2「道徳の時間」の充実

- ・学年研で教材研究したり、研修会を実施したりして、教師自身の道徳の指導力向上を図る。
- ・一人ひとりが安心して、自分の気持ちや経験を安心して語れるような学級風土づくりを目指し、相互理解ができるようにする。
- ・授業参観を通じて、全学級の道徳授業公開を年一回以上実施することで、学級の子ども達の見方考え方について家庭と共有する。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・重点研究で Y・P アセスメントの結果に基づき「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を実施したり、人権週間の取り組みをしたりして互いを認め合うあたたかい学級風土づくりをする。
- ・研修を通して、職員の人権感覚・意識を見つめ直し高めながら、協働して取り組む校内の支援体制づくりを目指す。
- ・その時々状況に合わせて、教師も児童も考えさせたい人権的内容を年度初めの計画に縛られず、取り上げ、見方考え方を広げる。